

講義名	システム開発			授業形態	
担当教員	澤田 清	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 1時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生

主題と概要

システム開発の各工程（基本計画、外部設計、内部設計、プログラム設計、テスト）の手法について講義する。授業の中で、基本情報技術者試験の過去問題を解く演習も行う。

到達目標

システム開発の各工程を理解し、システム開発に必要な基礎技術を身につける。

提出課題

授業時に問題演習を行う。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業時に、全体または個別に説明する。

評価の基準

提出課題：30%、定期試験（筆記試験）：70%

履修にあたっての注意・助言他

情報科学、プログラミング、コンピュータシステムの授業内容を十分理解していることを前提に授業を進める。

教科書

.使用しない。				
---------	--	--	--	--

参考図書

その他

毎回、プリント資料を配付する。

授業計画

1. プログラム言語
2. プログラム言語処理系
3. システム開発の手法
4. 基本計画（1）
5. 基本計画（2）
6. 外部設計（1）
7. 外部設計（2）
8. 内部設計（1）
9. 内部設計（2）
10. プログラム構造化設計（1）
11. プログラム構造化設計（2）
12. プログラム論理設計
13. テスト工程
14. テストケースの設計
15. システムの保守と開発工数の見積もり

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

配付資料を用いて、授業内容および演習問題の復習を毎回4時間程度行うこと。

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

到達目標を達成することは、DPの情報処理の専門的知識と情報技術を身に付けることである。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考